



山田新右衛門邸跡推定地にある常夜燈(左)、付近にある停留所(中)、御願塚古墳(右)

勝 小吉訪問の地 能勢妙見山

大阪府豊能郡能勢町野間中661

勝 小吉は、御願塚村の代表格 喜三郎らとともに能勢妙見山詣でに行きます。しばらく雨が降らないという意見を無視し、勝 小吉は雨具を用意させました。参詣後の下山中に大雨が降り、村民を驚かせました。また、山頂からは「大坂・尼ヶ崎・摂津の浦々が一望できた」と記しています。



勝 小吉が訪れた「能勢妙見山」の境内と説明板

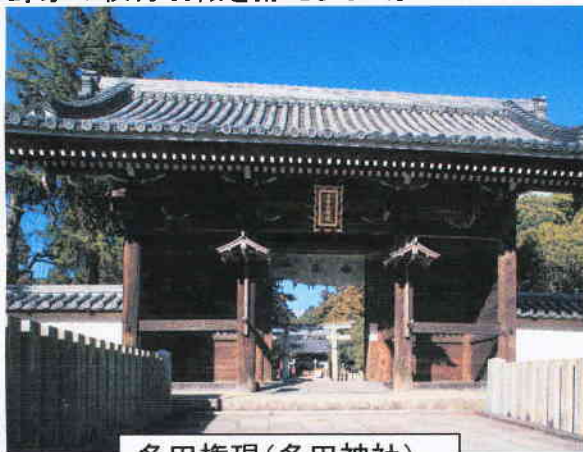
能勢妙見山の歴史

一時期滅びた能勢家を再興させた能勢中興の人頼次公が日乾上人に出会って日蓮宗に帰依し、妙見大菩薩を祀ったことが始まりです。今も学問成就、五穀豊穰、安産、縁結び等を祈願する参詣者を迎えています。また、近松門左衛門や勝海舟、坂田三吉も深く妙見大菩薩を信仰し、開運殿の前にある浄水堂は四代目中村歌衛門が願主となって建てたものです。

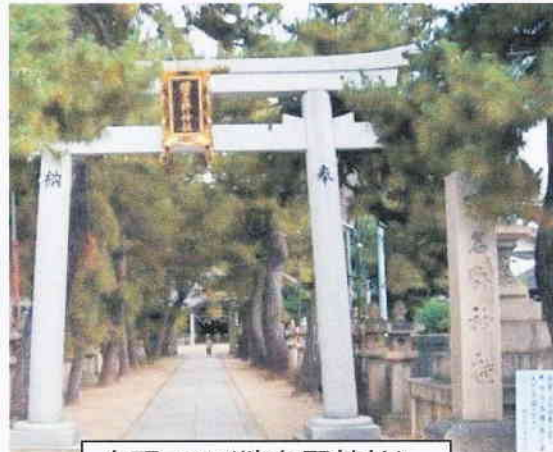
勝 小吉訪問の地 多田権現 兵庫県川西市多田院多田所町1

牛頭天王 兵庫県伊丹市宮ノ前3-6

能勢妙見詣後は旅籠で逗留し、翌日はそこから源氏発祥の地にある「多田権現(多田院)」詣でに行き、その後、御願塚村に戻りました。多田権現の本殿は第5代将軍徳川綱吉の寄進によるものです。その後、「百姓相手の大芝居」の装束を拵えるため、勝 小吉は、伊丹の「牛頭天王へ参詣する」と言って出かけ、呉服商白子屋へ行き、岡野家の紋付羽織を拵えました。



多田権現(多田神社)



牛頭天王(猪名野神社)

勝 海舟も御願塚村に訪問！

文久3年(1863)3月1日、勝 海舟は、前日(2月30日)に和田岬と湊川の砲台設置場所を定めた後、陸路で御願塚村を訪れました。

落ち着く暇も無く、すぐに西宮での砲台設置場所を定め、海路で大坂へ到着。

新たに専稱寺を寓居先と定め、そこへ坂本龍馬が訪れました。

もしかすると勝 海舟は、その晩、龍馬と酒を酌み交わしながら、御願塚村での父 小吉の活躍を話したかもしれませんね。

後記

「大坂の史跡を訪ねて」連載が45回を数えました。

おかげさまで5月30日に「大阪史跡探訪Vol.10」を無事終えることができました。

大阪(大坂)は数多くの偉人の足跡が発見でき、改めて歴史の舞台であった場所であることがわかりました。

今後も掘り下げていきたいと思えます。